

1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容							
1	作 成 単 位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位（会社コード単位）							
2	フォーマット形式	3. 5 インチ F D				CD-R	MO	E D I 解凍時	
		2 H D		2 D D				2 H D	
		1.25 MB	1.44 MB	640 KB	720 KB	6 5 0 MB	1 2 8 MB	1.25 MB	1.44 MB
3	最 大 出 力 件 数 （ 圧 縮 時 ）	2,400 レコｰﾄﾞ	2,800 レコｰﾄﾞ	1,200 レコｰﾄﾞ				2,400 レコｰﾄﾞ	2,800 レコｰﾄﾞ
		(19,200 レコｰﾄﾞ)	(22,400 レコｰﾄﾞ)	(15,000 レコｰﾄﾞ)		圧縮なし			
4	使 用 コ ー ド	MS-DOS : J I S コｰﾄﾞ I B M : E B C D I C コｰﾄﾞ				MS-DOS : J I S コｰﾄﾞ			
5	レ コ ー ド 長	MS-DOS : 固定長 512 バイト+2 バイト (復帰、改行コｰﾄﾞ が付加されます) I B M : 固定長。5 1 2 バイト				MS-DOS : 固定長 512 バイト+2 バイト (復帰、改行コｰﾄﾞ が付加されます)			
6	フ ァ イ ル 形 式	MS-DOS : 固定長テキストファイル形式 I B M : 固定長ファイル形式 (1 枚に収容しきれない場合は、同 一ファイル名で、複数枚作成しま す。)				MS-DOS : 固定長テキストファイル形式			
7	フ ァ イ ル 名	【FD、MO、CD-R】 C+会社コｰﾄﾞ（会社コｰﾄﾞ→弊社がお客さま識別するた めに付与した識別コｰﾄﾞ 5 桁） 例：C12345 圧縮時：C+会社コｰﾄﾞ+拡張子 例：C12345nn.exe (nn：FD 作成通番。01~99) ※“X”は前システムより移行したデータに設定、“C”は媒 体変換システム立ち上げ後の新サービス利用者に設定					データ保存時、お客様 にて任意設定		
		【E D I】 R+請求回数（0~9）+請求年（西暦下 2 桁）+月（1~9、 A、B、C）+群（1~9、A~V）+通番（01~99）							

<圧縮について>

お客様提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

【圧縮したデータの解凍手順】

- （1） 実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2） 実行ファイルが自動的に料金請求・収納サービス番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

2. ファイル構成

管理 レコード	請求 単位 データ 1	～	請求 単位 データ n	会社 合計 レコード
------------	----------------------	---	----------------------	------------------

料金請求・収納サービス 利用者番号別内訳レコード 1番目	料金請求・収納サービス 利用者番号別内訳レコード 2 1番目	～	料金請求・収納サービス 利用者番号別内訳レコード 2 N番目	～	料金請求・収納サービス 利用者番号別内訳レコード 1番目	～	料金請求・収納サービス 利用者番号別内訳レコード 2 N番目	請求書作成番号合計 レコード 1番目	請求書作成番号合計 レコード 2 1番目	～	請求書作成番号合計 レコード 2 N番目
料金請求・収納サービス 利用者番号 1 番目				料金請求・収納サービス 利用者番号 N 番目				料金請求・収納サービス ご請求番号 1 番目			

1. 同一料金請求・収納サービス利用者番号の情報が、「料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード」に収まらない時、オーバー分を「料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード2」として格納する。
2. 又、「料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード2」は複数レコード存在する場合があります、「料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード」から「レコードNO」をシーケンスで付与する。
3. 請求書作成番号合計レコードも上記と同様の構成となる。

3. レコード構成

(1) 管理レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	請求期別・年	請求期別・月	請求期別・群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群	予備
5	6	2	4	4	2	1	2	1	3	1	1	480

(計、512 桁)

(2) 料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード (第1レコード)

号	料金請求・収納サービス利用者番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	サービス種別	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	料金請求・収納サービス利用料等初日	料金請求・収納サービス利用料等末日	検針日前回	検針日今回
10	1	2	2	2	10	6	1	2	11	4	4	4	4	4	4	4

予備	予備	予備	ご請求金額	予備	請求内訳 1					請求内訳 2 請求内訳 16	請求内訳 17※					予備
					利用内訳コード 1	請求内訳コード 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用内訳コード 17	請求内訳コード 17	内訳金額 17	残回数 17	税区分 17	
10	10	35	10	5	2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512 桁)

※請求内訳は、1レコード最大17内訳まで収容します。同一料金請求・収納サービス利用者番号で18内訳以上の請求内訳がある場合、18内訳目以降は、第2レコード以降に収容します。

(3) 料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード2 (第2レコード以降)

料金請求・収納サービス利用者番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	サービス種別	予備
10	1	2	2	2	10	6	1	2	105

請求内訳1					請求内訳2 請求内訳16	請求内訳17※					予備
利用内訳コード1	請求内訳コード1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用内訳コード17	請求内訳コード17	内訳金額17	残回数17	税区分17	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512桁)

※同一料金請求・収納サービス利用者番号で、請求内訳が18内訳以上ある場合、第3レコード以降に収めます。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については第2レコードと同一となります。

(4) 請求書作成番号合計レコード (第1レコード)

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	料金請求・収納サービス利用料等初日	料金請求・収納サービス利用料等末日	検針日前回	検針日今回	予備	予備	予備	請求合計金額
10	1	2	2	2	10	6	14	4	4	4	4	4	4	10	10	35	10

請求件数	金融機関コード	口座番号	口座名義	予備	送付先名	予備
8	7	8	40	5	40	268

(計、512桁)

(5) 請求書作成番号合計レコード2 (第2レコード以降)

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備
10	1	2	2	2	10	6	108

請求内訳1					請求内訳2 請求内訳16	請求内訳17※					予備
利用内訳コード1	請求内訳コード1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用内訳コード17	請求内訳コード17	内訳金額17	残回数17	税区分17	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512桁)

※同一請求番号で、請求内訳が18内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については、第2レコードと同一となります。

(6) 会社合計レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	会社合計請求金額	会社合計請求件数	予備
5	6	2	4	12	8	475

(計、512桁)

4. レコード内容

(1) 管理レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド		文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：「30009」
2	予 備		文字	6	
3	デ ー タ 種 類		文字	2	「01」を設定
4	予 備		文字	4	
5	請 求 期 別	年	文字	4	西暦 4 桁で記録
6		月	文字	2	「01」～「12」を設定
7		群	文字	1	「1」～「6」 (コード表「項番 5、料金群・詳細群」参照)
8	媒 体 通 番		数字	2	「01」を設定
9	網 種 別		文字	1	「8」…その他網サービス
10	媒 体 識 別		文字	3	FDの場合 …「FD△」 MOの場合 …「MO△」 CD-Rの場合 …「CDR」 EDIの場合 …「EDI」 ビリングステーション（注1）をご契約の場合… 「BS△」
11	請 求 回 数		文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した 回数（料金群変更時等） ＊ 再発行は対象外 ＊ 回数は0から起算
12	詳 細 群		文字	1	詳細群を「A」～「V」、「1」～「9」で設定 (コード表「項番 5、料金群・詳細群」参照)
13	予 備		文字	480	

(注1)：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を
専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) 料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	料金請求・収納サービス利用者番号	文字	10	10桁以内の場合・・・そのまま利用者番号を設定。 11桁以上の場合・・・P13参照
2	定期分割区分	数字	1	「0」を設定
3	データ種類	数字	2	「11」を設定
4	レコードNO	数字	2	同一電話番号内でのレコードNOを設定
5	レコード数	数字	2	同一電話番号内でのレコード数を設定
6	ご請求番号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
7	部課別コード	数字	6	お客様が料金請求・収納サービス利用者番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合：「000001」～「999999」 設定なしの場合：「000000」
8	減算不能区分	文字	1	(コード表「項番1、減算不能区分コード」参照)
9	サービス種別	文字	2	料金請求・収納サービス サービス種別名を設定。 (コード表「項番6、非電話サービス種別」参照)
10	予 備	文字	11	
11	ご利用期間 基本料等初日	数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例：初日 10月 1日 → 「1001」 末日 10月31日 → 「1031」
12	ご利用期間 基本料等末日	数字	4	
13	料金請求・収納サービス 利用料等初日	数字	4	
14	料金請求・収納サービス 利用料等末日	数字	4	
15	検針日前回	数字	4	オールゼロを設定
16	検針日今回	数字	4	
17	予 備	数字	10	
18	予 備	数字	10	
19	予 備	文字	35	
20	ご請求金額	数字	10	該当料金請求・収納サービス利用者番号の請求金額を設定 例：5250円の場合→「0000005250」 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6項(P14、15)内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
21	予 備	文字	5	

次項へ続く

(2) 料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコードの続き

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
2 2	請求内訳 1	利 用 内 訳 コ ー ド 1	数字	2	(コード表「項番 3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	(コード表「項番 7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	1 0	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6 項 (P14、15) 内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番 4、税区分コード」参照)
2 3 ～ 3 7	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 6			315	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定 (請求内訳は最大 1 7 内訳までを本レコードに編集し、1 7 内訳を超える場合は「(3) 料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード 2」に編集)
3 8	請求内訳 17	利 用 内 訳 コ ー ド 1 7	数字	2	
		請 求 内 訳 コ ー ド 1 7	文字	4	
		内 訳 金 額 1 7	数字	1 0	
		残 回 数 1 7	文字	3	
		税 区 分 1 7	数字	2	
3 9	予 備	文字	1 4		

(3) 料金請求・収納サービス利用者番号別内訳レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	料 金 請 求 ・ 収 納 サービス 利 用 者 番 号		文字	1 0	10 桁の場合・・・そのまま利用者番号を設定。 11 桁以上の場合・・・P13 参照
2	定 期 分 割 区 分		数字	1	「0」を設定
3	デ ー タ 種 類		数字	2	「11」を設定
4	レ コ ー ド N O		数字	2	同一料金請求・収納サービス利用者番号でのレコード N o を設定 例：「02」～「99」
5	レ コ ー ド 数		数字	2	同一料金請求・収納サービス利用者番号でのレコード 数を設定
6	ご 請 求 番 号		数字	1 0	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
7	部 課 別 コ ー ド		数字	6	お客様が料金請求・収納サービス利用者番号単位に設 定した部課別コード 設定ありの場合：「000001」～「999999」 設定なしの場合：「000000」
8	減 算 不 能 区 分		文字	1	
9	サ ー ビ ス 種 別		文字	2	料金請求・収納サービス サービス種別名を設定。 (コード表「項番 6、非電話サービス種別」参照)
1 0	予 備		文字	1 0 5	
1 1	請求内訳 1	利 用 内 訳 コ ー ド 1	数字	2	(コード表「項番 3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	(コード表「項番 7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	1 0	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6 項 (P14、15) 内訳額マイナス時の記録形式について」 参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番 4、税区分コード」参照)
1 2 ～ 2 6	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 6			3 1 5	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合 は、オールスペースを設定 (請求内訳は最大 1 7 内訳までを本レコードに編集 し、1 7 内訳を超える場合は「(3) 料金請求・収納 サービス利用者番号別内訳レコード 2」[第 3 レコード (レコード N O「03」) 以降]に編集)
2 7	請求内訳 17	利 用 内 訳 コ ー ド 1 7	数字	2	
		請 求 内 訳 コ ー ド 1 7	文字	4	
		内 訳 金 額 1 7	数字	1 0	
		残 回 数 1 7	文字	3	
		税 区 分 1 7	数字	2	
2 8	予 備		文字	1 4	

(4) 請求書作成番号合計レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号		数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予 備		文字	1	
3	デ ー タ 種 類		数字	2	「51」を設定
4	レ コ ー ド N O		数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定
5	レ コ ー ド 数		数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予 備		文字	10	
7	部 課 別 コ ー ド		数字	6	オールゼロを設定
8	予 備		文字	14	
9	ご 利 用 期 間 初 日 基 本 料 等 初 日		数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例：初日 10月 1日 → 「1001」 末日 10月31日 → 「1031」
10	ご 利 用 期 間 末 日 基 本 料 等 末 日		数字	4	
11	料金請求・収納サービス 利 用 料 等 初 日		数字	4	
12	料金請求・収納サービス 利 用 料 等 末 日		数字	4	
13	検 針 日 前 回		数字	4	オールゼロを設定
14	検 針 日 今 回		数字	4	
15	予 備		数字	10	
16	予 備		数字	10	
17	予 備		文字	35	
18	請 求 合 計 金 額		数字	10	請求書作成単位の請求金額を設定 例：100000 円の場合 → 「0000100000」
19	請 求 件 数		数字	8	請求書作成単位の料金請求・収納サービス 利用者番号数を設定 例：100 回線の場合 → 「00000100」
20	口座振替	金 融 機 関 コ ー ド	文字	7	口座振替の場合、金融機関コードを設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
21		口 座 番 号	文字	8	口座振替の場合、口座番号を設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
22		口 座 名 義	文字	40	口座振替の場合、半角カナ左詰めの口座名義を設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
23	予 備		文字	5	
24	送 付 先 名		文字	40	請求書送付先名を半角カナ左詰めで設定
25	予 備		文字	268	

(5) 請求書作成番号合計レコード2

項番	項 目 名			区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号			数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予 備			文字	1	
3	デ ー タ 種 類			数字	2	「51」を設定
4	レ コ ー ド N O			数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定 例：「02」～「99」
5	レ コ ー ド 数			数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予 備			文字	10	
7	部 課 別 コ ー ド			数字	6	オールゼロを設定
8	予 備			文字	108	
9	請求内訳1	利 用 内 訳 コ ー ド 1	数字	2		(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4		(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	10		請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (「6項(P14、15)内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3		オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2		(コード表「項番4、税区分コード」参照)
10 ～ 24	請求内訳2～請求内訳16				315	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、スペースを設定
25	請求内訳17	利 用 内 訳 コ ー ド 1 7	数字	2		(請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は「(5) 請求書作成番号合計レコード2」[第3レコード(レコードNo「03」)以降]に編集)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1 7	文字	4		
		内 訳 金 額 1 7	数字	10		
		残 回 数 1 7	文字	3		
		税 区 分 1 7	数字	2		
26	予 備			文字	14	

(6) 会社合計レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	数字	5	お客様を識別するコードを設定 例：「30009」
2	予 備	文字	6	
3	デ ー タ 種 類	数字	2	「91」を設定
4	予 備	文字	4	
5	会 社 合 計 請 求 金 額	数字	1 2	会社コード単位の請求金額合計を設定 例：1000000 円の場合→ 「000001000000」
6	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	8	会社コード単位の料金請求・収納サービス 利用者番号数合計を設定 例：10000 回線の場合→ 「00010000」
7	予 備	文字	4 7 5	

5. 料金請求・収納サービスの利用者番号の収録について

料金請求・収納サービス利用者番号欄へは、利用者番号が10桁を超えた場合、以下の通り編集して出力いたします。

(1) 電話番号の場合

利用者番号の先頭1文字を除いて出力されています。
変換方法は次の通りです。

0 5 0—△△△△—□□□□
↓
5 0 △△△△□□□□

(2) それ以外の場合

お客さまがご締結されている契約に応じた料金請求・収納サービスのサービス種別コード(コード表に記載)を出力し、残りの桁を全て"0"埋めを行ったコードが出力されています。
変換方法は次のとおりです。

XX 00000000
| |
└───┬───→ サービス種別コード
└───┬───→ 全て"0"埋め

6. 内訳額マイナス時の記録形式について

(1) IBM (EBCDICコード)

(例)

マイナス 金 額	表示 形式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
-100	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	}
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D0
-101	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D1
-102	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	K
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D2
-103	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	L
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D3
-104	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	M
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D4
-105	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	N
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D5
-106	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	O
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D6
-107	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	P
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D7
-108	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	Q
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D8
-109	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	R
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D9

注、F0～F9：数字「0」～「9」の16進数表示。

D0～D9：マイナスサイン付き数字「0」～「9」の16進数表示。

(2) DOS (JIS8コード)

(例)

マイナス 金 額	表 示 形 式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
－１００	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	０
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	30
－１０１	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	１
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	31
－１０２	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	２
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	32
－１０３	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	３
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	33
－１０４	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	４
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	34
－１０５	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	５
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	35
－１０６	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	６
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	36
－１０７	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	７
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	37
－１０８	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	８
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	38
－１０９	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	９
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	39

注、2D：マイナス「－」の16進数表示。30～39：数字「0」～「9」の16進数表示。